

幼児教育は
「こんな風に育ってほしい」
を叶える場所

富田幼稚園
宮澤公大



お子さんの“ちょっと先の未来”と一緒にイメージしてみませんか？

お子さんの1年後の姿を想像してみてください。では、3年後の姿は……？

幼児教育は、お子さんの未来への大切な投資です。

ちょっと先の未来を思い描きながら、お子さんにぴったりの幼児教育を選んでみませんか？

幼児期に毎日過ごす園は、家庭と同じくらい、お子さんの心と体、人格を育む大切な場所になります。

「うちの子には、どんな環境で、どんな経験をさせてあげたいか」…、ご家庭がそういう思いを抱くこと、子育て期にはとても大切なことです。

お子さんの成長願う思いを具体的にイメージするため、子どもの一般的な発達を少し考えてみましょう。

乳児期～幼児期前期（0～3歳くらい） 世界が安心できる場所だと知る時期



乳児期、幼児期前期(0～3歳くらい)には、家庭や保育施設とのかかわりから、基本的信頼感の獲得、言語の発達、身体の発達(はいはい、立つ、歩く、食事ができるなど)が著しいです。それから、感情の表出(喜怒哀楽の感情)が発達していきます。

この時期は「世界は安心できる場所だ」と感じる土台を作ります。

たとえば……

- ・先生にぎゅっと抱っこされて、安心しきった満面の笑顔を見てくれる
- ・大好きなおもちゃを追いかけて「はいはい」、立ち上がって「よし、歩くぞ！」と挑戦する
- ・「まんま」「だだ（だっこ）」と初めての言葉で気持ちを伝える
- ・泣いても笑っても、全部受け止めてもらえる安心感



幼児期後期（3～6歳くらい）

仲間と一緒に、ぐんぐん伸びる時期



幼児期後期(3～6歳くらい)になると言語、身体的にも高度に発達していき、自発性が生まれます。

「自分でやりたい！」が爆発し、同時に「友達と一緒に」が楽しくなる時期です。

ここで出会う “ちょっとだけ年上のお兄さんお姉さん” や “同じ年頃の仲間たち”との関わりが実はものすごい力になります。

たとえば……

- ・年上のお兄さんお姉さんがお片付けをテキパキしている姿を見て「僕も手伝う！」と自然に動き出す
- ・運動会で年長さんがかっこよく走るのを見て「来年はあんな風になりたい！」と目をキラキラさせる
- ・ケンカしても、友達と一緒に泣いたり笑ったりしながら「どうしたらいいか」を学んでいく
- ・「次はどうなるの！？」と絵本に夢中になる子を見て、自分も本が大好きになる
- ・友達が「ごめんね」と言ったら、自分も言えるようになる

子育てヒント
『ピア効果』
調べてみよう





憧れの連鎖が起きる教育のちから

幼児期後期(3~6歳くらい)の子どもたちは、友達、仲間の姿を見て、感じて、どんどん伸びていきます。

この時期に、様々な人と関わる場で生活することで、社会性(自分の感情と他人とのバランス、感情と理屈のバランス)が発達していきます。だからこそ、この時期お子さんにとって望ましい環境があります。

みんなが「憧れの存在」になり、「憧れられる存在」になる。そんな温かい成長の連鎖が、自然に起る環境が重要になってきます。

あなたが描く、お子さんの3年後の笑顔

さあ、お子さん成長にたいしてどのような思いが芽生えましたか？

お子さん1年後、3年後の姿は・・・、どんな笑顔で、どんな言葉を話し、どんなお友達と過ごしているか、ぜひ、ご家族で話題にしてみてください。

お子さんの健やかな成長を願う気持ちは、どの時代もどこの家庭も同じです。

幼児教育環境は、どこも同じではありません。「ここなら安心して預けられる」「ここならうちの子が伸び伸び育つ！」と思える環境、「こんな風に育ってほしい」というご家庭の願いを共有し、一緒に成長を喜び合える教育施設を選んでみませんか。



わたしたち 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 加盟園は、永く幼児教育に携わり、抜群の教育環境を整え、教育に磨きをかけている園ばかりです。

どんな小さなことでも、気になることがあれば、お近くの園にいつでも声をかけてみてください。ご家庭と一緒に、お子さんの成長と未来を叶えていけたら嬉しいです。